

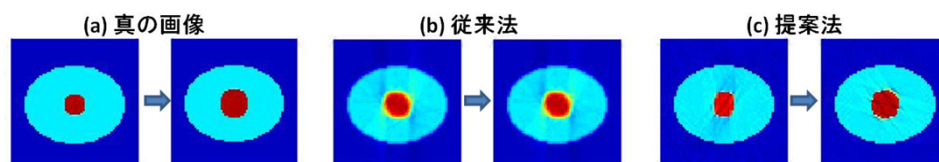
タイトル

撮影対象の動きを補正したX線CTアルゴリズム

Motion compensated X-ray CT algorithm for moving objects

概要

X線CTは、非侵襲的に人体内部を観測する方法として医用画像診断に欠かせないものとなっている。従来のX線CTは撮影対象が静止していることを仮定して画像の再構成を行うため、心臓や肺などの動きのある組織を撮影する場合には偽像が生じてしまうが、本技術はその偽像を大幅に減らすことができる。



URL

産業界への展開例・適用分野

乳幼児ではとくに制御の難しい体動や呼吸、心拍など動きを伴う医用X線CT全般

	氏名	専攻	研究室	役職(学年)
展示担当者	田中 匠	システム科学	石井研究室	修士 1年
	前田 新一	システム科学	石井研究室	助教